

## 1999年の年頭にあって

今年も、年頭に当たって愚にもつかない文章から始まります。

1998年もコンピュータ業界ではいろいろなことが有りました。1つは、Windows 98が発売されたことです。7月末に発売されましたが、あまり外形的に大きくWin 95と違わないためか、また、バグがなくなるのをしばらく待っているのか、どの程度普及しているものやらといった状態です。

確かにWin 98の発売は有りましたが、その他といえは1年たっても状況がそれほど変わっていないように思います。確かに、パソコンの寿命は短くなっていきますし、CPUはPentium IIが全盛となっています。しかし、いろいろ変化はしていますが、なんとなく同じようなパターンがまた今年も繰り返されるのだろうかと思うだけで、まったく違った動きが出てきているわけではありません。つまり、CPUはそれなりに今年も速くなるのだろうし、周辺機器もそれなりに大容量化、高速化するのだろうということです。

その中で変わったことといえば、パソコンの自作が一般化したことがあげられます。コンピュータが出始めた20年ほど前も確かに自作の時代でした。そのころは、基板にICソケットなどをさして、自分で回路設計し、配線までしたもので、なかなか素直には動かなかったものです。その後パソコンが全盛となり、DOSが各社特別仕様であったためか、自作することもできなくなっていました。それがDOS/Vが一般化するようになって、外国（特に台湾の）マザーボードが発売されるようになりました。そうすると、秋葉原などのショップ（中にはオームのものも有りましたが）が独自にパソコンを組み立てて発売できるようになり、自作する人も出てくるようになって、雑誌の特集も自作の記事がよく目に付くようになりました。確かに簡単なのです。部品となるマザーボードやCPU、ハードディスクなどを買ってきて、ネジ止めして接続すればまず間違いなく作ることができます。雑誌や本を買ってきて写真を見ながらやれば特に間違いありません。面白い時代になったものですが、パソコンを売るほうは大変です。自作でも際高性能のものができてしまうのですから。どうしたものか。

それとは別に、インターネットがより生活に入ってきています。テレビもデジタル化されるようですし、情報がインターネットとテレビとの融合でいろいろなところに浸透してくるものとは思いますが、これまでの概念では管理できない状況がもうすぐそこに迫っているようです。テレビが変わり、新聞が変わり、流通が変化し、商取引が変化する。これまではパソコンが急速に変化してきたと捉えてきましたが、これからはすべての情報、ものの流れがどう変わっていくかが、急速な変化となって現れてくるように思います。いつまでもこれまでの概念にとらわれていてはすまなくなりそうです。今どのような状況に有るのか、流れがどの方向を向いているのか、2000年を目の前にして、しっかり見据えていく必要が有るような気がします。

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 1月4日号

解説 止まらないHDDの容量拡大 1999年は50Gバイト超へ  
→大容量化のすすむHDD、1999年には、サーバ用で50G、パソコン用で25Gとなる。

解説 BSデジタル放送の立ち上げに放送局とメーカーは存亡を賭ける  
→2000年からBSデジタル放送が始まる。まずは無料放送で受信機の普及を計るが、収入源や番組編成など問題は山積みで、地上波との連動など民放各社は生き残りをかける。

○日経バイト 1月号

特集 究極のデータ表現「XML」  
→インターネットのホームページを表現するHTMLの拡張仕様であるXMLが注目されている。XMLは、プラットフォームに依存しないデータ交換フォーマットとして、携帯電話やデジタル家電まで広範囲の応用が期待されている。

特集 3Dグラフィックス最前線  
→これまでゲームのみがアプリケーションであった3Dグラフィックス。今後は、3Dチップの性能向上と、アプリケーションの3D対応が進み注目されている。

解説 インターネットの図書館を目指すOracleとMicrosoft  
→次世代のデータベースサーバは、インターネットを標準に、さまざまなインターネットクライアントからのアクセスを可能にする。

○ASCII 1月号

特集 パソコン拡張の甘い蜜と落とし穴  
→CPUアップグレードからハードディスク増設、メモリ増設など。パソコン拡張もいろいろ有るが、どこまで安く拡張できるか。

特集 IMEに効くつぼ110  
→パソコンで必ず使う日本語変換IME。あまり気にもしないで使っているが、使い方一つで使いやすくなる。

○ASCII DOS/V 2月号

特集 21世紀の記憶デバイスをすべて見せよう！  
→大容量化となっているHDD、DVD-RAM、ポストフロッピーなどこれからの記憶デバイスを網羅する特集。もういろいろなものが身近になっている。

特集 冬はこたつでDVDシアター  
→DVDの規格が決定して2年、そろそろソフトも充実して来た。3Dのビデオカードであれば、ソフトDVD再生ソフトでも十分。ソフトも2000タイトルぐらいが3000～4000円で手に入る。

○PCWORK 1月号

特集 Win98パソコン完全攻略テクニック

→Win98登場から半年。インストールからアンインストールまで、基本から裏技までを完全攻略するテクニック特集。

特集 2000年問題がやってくる

→漠然としか問題視されなかった2000年問題。実際には何が起こるのかよく知らされていないのが現状。パソコンによってはH/Wの交換も必要となる問題のうわさを含めて実態を特集。

特集 互換CPUパソコン徹底検証!

→メーカーのパソコンにも際要素されている互換CPU。その性能はどうかベンチマークで比較。

○DOS/V magazine 1月15日号

特集 第7世代のCPUウォーズ

→第6世代のPentiumProでつまづいたインテル。そのために互換CPUが台頭してきた。パソコンの低価格化もあいまって急速にシェアが変化している。次世代のCPUはどうなるか。

特集 クラック防御入門

→前回からの特集の続き。インターネットのWWWサーバのクラッカーに対する防御について対策はどう取ればよいのか。